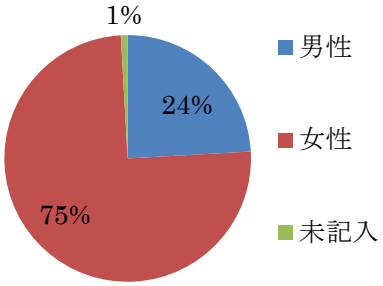
# 地域連携室“あざれあ”便り　第５０号

新しい年度となりました。日頃より地域連携室「あざれあ」の活動に対し、ご理解ご協力いただき厚く御礼申し上げます。今月は、平成 29 年 3 月に開催した市民公開講座と、新年度の“あざれあ”の活動を中心にご報告いたします。

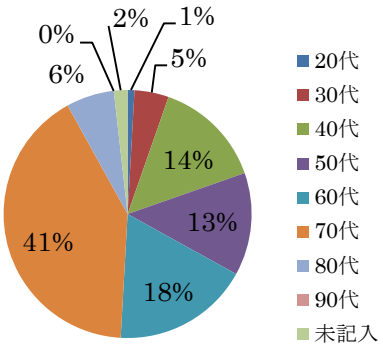
## 平成 29 年度　市民公開講座～究極の町医者地域を駆ける～

平成 29 年 3 月 10 日（土）アザレアホールにて、東京都大田区鈴木内科医院院長 鈴木央先生をお迎えして市民公開講座を開催しました。当日は約２００人の参加があり、東広島市民の「在宅医療」に対する関心の高さが伺える講座となりました。お忙しい中、多数ご参加くださり、感謝申し上げます。

性別




年齢層




## 参加者の特徴

＊参加者のうち、男性が約４分の１、女性が４分の 3。年々男性の参加が増えている。
＊約４割が７０代、次いで６０代が約２割。年齢層の高い参加者が増加傾向にある。

**【第１部　基調講演】「在宅で最期まで過ごす選択肢―町医者が支える在宅医療―」**

鈴木内科医院　院長　鈴木央先生

「あなたは病気に苦しみ、幸福とはいえないかもしれない」
「しかし、家族から暖かい世話を受けているあなたを見ていると、あなたは少なくとも不幸ではないと私には思える」

**【第２部　シンポジウム/ディスカッション】**
**「在宅医療　患者・家族の生活を支えるキラリ人たち」**

＊藤原先生「在宅医療のすすめ～地域医療介護連携支援システム エイルを中心に～」
＊ケアマネジャー山岡さん「本人・家族が一番良いと思う選択を支援」
＊訪看吉川さん「その人らしい生活を支援」
＊福祉用具砂田さん「道具で自立した生活を支援」

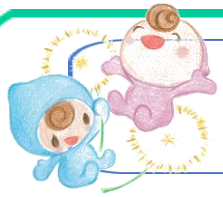
# 平成 30 年度　東広島市委託事業

## 今年度も　５項目の委託事業　継続決定

### 主な活動内容

- 「資源マップ」の作成（２３００冊）、活用状況の把握
- 情報共有ツールについての活用状況の把握、検討
- 在宅医療介護に関する相談支援
- 研修会の開催（多職種研修会、医療介護関係者研修会、スウィート緩和ケア研修会）
- 地域住民への普及啓発（市民公開講座、ＡＣＰ説明会、在宅療養ミニ講座、がん患者・家族・支援者のつどい「こころの駅舎」）

## がん患者さん・家族・支援者のつどい　こころの駅舎



### 年間スケジュール・４月イベント型の「チラシ」を配布

今年度も、毎月第４木曜日に東広島芸術文化ホールくららで「こころの駅舎」を開催します。ホームページにチラシを公開していますので、詳細はそちらでご確認ください。

皆さまのご支援のお蔭で、がん患者さんを中心に参加者が増えてきました。２月からは、患者さん発信の読み物“がん患者 あるある かわら版”の発行も始めました。東広島独自のがん患者さん・家族・支援者のためのつどいの成長を、今後も見守って頂ければ幸いです。

年間・４月チラシ

“あるある”かわら版